JIS

電気設備用ケーブルトランキング 及びダクティングシステムー

第 3-1 部：金属製線ぴ，金属製線ぴ用附属品 及び金属製線ぴ用ボックスの個別要求事項

JIS C 8471-3-1 : 2017

(IEIEJ/JSA)

平成 29 年 10 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第二部会 電気技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	大崎 博之	東京大学
(委員)	青柳 恵美子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	岩本 光正	東京工業大学
	上原 京一	IEC/ACTAD エキスパート (株式会社東芝)
	加藤 正樹	一般財団法人電気安全環境研究所
	木戸 啓人	電気事業連合会
	熊田 亜紀子	東京大学
	酒井 祐之	一般社団法人電気学会
	下川 英男	一般社団法人電気設備学会
	高村 里子	全国地域婦人団体連絡協議会
	前田 育男	IEC/ACOS エキスパート (IDEC 株式会社)
	山田 美佐子	千葉県消費者センター

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 29.10.20

官 報 公 示：平成 29.10.20

原 案 作 成 者：一般社団法人電気設備学会

(〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-9-6 堀留ゼネラルビル TEL 03-6206-2720)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第二部会 (部会長 大崎 博之)

審議専門委員会：電気技術専門委員会 (委員長 大崎 博之)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際電気標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 一般要求事項	3
5 試験に関する共通条件	3
6 分類	3
7 表示	3
8 寸法	4
8.1 金属製電線管類	4
8.2 電線管類の附属品	5
9 構造	8
9.1 構造一般	8
9.2 材料	9
10 機械的特性	9
10.1 機械的強度	10
10.2 表面据付用ケーブル支持試験	10
10.3 衝撃試験	10
10.4 たわみ試験	11
10.5 (削除)	11
10.6 カバー(キャップ)保持力試験	11
10.101 ノックアウト強度試験	11
10.102 ねじ強度試験	11
11 耐延焼性	11
12 電気的特性	11
12.1 感電防止	11
12.2 電気的要求事項	11
12.3 ボンディングに対する電気的連続性試験	12
12.4 接地抵抗	12
13 外部の影響	12
13.1 一般	12
13.2 耐食性試験	12
附属書 JAA(規定) 金属製線び, 金属製線び用の附属品及び金属製線び用のボックスの要求事項	13
解 説	14

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人電気設備学会（IEIEJ）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS C 8471 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS C 8471-1 第 1 部：一般要求事項

JIS C 8471-2-1 第 2-1 部：壁及び天井に取り付けることを目的とするケーブルトランキング及びダクトディングシステムの個別要求事項

JIS C 8471-3-1 第 3-1 部：金属製線ぴ、金属製線ぴ用附属品及び金属製線ぴ用ボックスの個別要求事項

電気設備用ケーブルトランキング及びダクティング システム—第 3-1 部：金属製線び，金属製線び用 附属品及び金属製線び用ボックスの個別要求事項

Cable trunking and ducting systems for electrical installations—
Part 3-1: Metal raceway, Fitting for metal raceway and Box for metal raceway

序文

この規格は、2000年に制定された **JIS C 8471-1** を基に、電気設備に関する技術基準を定める省令の金属製線び工事で使用する金属製線び、金属製線び用附属品及び金属製線び用ボックスの電気的性能に関する規定を追加した日本工業規格であり、**JIS C 8471-1** と併読する規格である。

なお、対応する個別要求事項の国際規格は制定されていない。

注記 この規格は、電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈に基づいている。

1 適用範囲

この規格の適用範囲は、**JIS C 8471-1:2000**（以下、**第 1 部**という。）の適用範囲に加えて、次による。

この規格は、ケーブルトランキング及びケーブルダクティングシステムの金属製線び、金属製線び用附属品及び金属製線び用ボックスの電気的安全について規定する。

この規格は、次の製品には適用しない。

- 電線管システム
- 家庭用及びこれに類する用途の固定電気設備の電気アクセサリ用のボックス及びエンクロージャ
- ケーブルトレイ
- ケーブルラック
- システム内の通電部分

2 引用規格

引用規格は、**第 1 部**の **2.**を次に置き換えて適用する。

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS C 0920:2003 電気機械器具の外郭による保護等級（IP コード）

JIS C 8305 鋼製電線管

JIS C 8461-1:2012 電線管システム—第 1 部：通則

JIS C 8471-1:2000 電気設備用ケーブルトランキング及びダクティングシステム—第 1 部：一般要求